

障害があるこどもたちの育ちをサポートするお仕事です

わたしたちと一緒に働いてみませんか？

どんなことをするのか
分からないし、不安…



専門的な知識が必要で
難しそう…

こども発達支援センター「といろ」の一日を紹介します



朝礼
保育準備

8:35

通園バス出発

朝・帰りとも2台のバスに当番で添乗します

保育開始

9:00

保護者に送られたり通園バスで登園します
リュックの中の荷物を片付けたら自由遊び

通園バス到着

10:00

遊びを見守る人、こどもを受け入れる人…役割分担して動きます

朝の会

10:30

手あそび、絵本、ペープサートなど楽しむ時間

設定保育

11:00

季節の遊び、制作、ごっこ遊び、散歩など、いろいろな活動を通して経験を広げます

給食

11:50

園調理のおいしい給食です
こどもに合わせて色々な形態があります

昼寝

12:30

年長児や眠れないこどもは自由あそび

おやつ
帰りの会

14:00

おやつが終わると、帰りの会
絵本や手あそびをして「さようなら」のあいさつ

降園・通園バス出発

15:00

リュックに自分の荷物を片づけて通園バスや保護者を待ちます

清掃

翌日の準備

会議や打合せなど

17:20

※月曜日は親子登園日で保育時間は13:30までです



こども発達支援センター「といろ」の保育について

知的な遅れや肢体不自由、自閉スペクトラム症などの障害があるこどもたちが通園しています。

こどもたちと信頼関係を築き、分かりやすい日課や遊び・環境を工夫することで、安心感のもとで好きなこと、楽しいことをたっぷりと経験してほしいと願っています。

○「特別な療育」ではなく、こどもとして当たり前の生活を大切にしています。

○一人ひとりの特性や発達、こどもの思いに寄り沿って関わり方を工夫します。

職員へのサポートとして

○保育士だけでなく、医療専門職や心理士、相談員等と連携しながら関わるので、様々なアドバイスのもとで支援ができます。

○研修が充実しています。新任職員には障害の特性や関わり方、家族支援など、様々な分野の基本的な知識を学んでいただくことができます。また、一人ひとりにOJTがついてサポートしていきます。

現在のスタッフも、保育所やこども園での保育経験しかなかった方ばかりです。一緒に学び、成長し合えるようにがんばっています。

先輩からのコメント

こどもとの出会いは毎日が新しい発見です。こどもが経験を重ねることで笑顔が増え、苦手だった事ができるようになる姿を身近に感じられることがやりがいです。こどもの成長はゆっくりですが、その一つひとつの大切な成長段階に関わることの幸せを感じ、私自身も日々成長させてもらっています。

障害児保育の知識や経験がなくても、専門職が保育に入りアドバイスがもらえるので、保育をしながら多くのことを学べます。

時間外勤務はなく定時で帰れるため、会計年度任用職員にとって働きやすい職場です。

少人数のクラスで、こどものペースや気持ちを大切にしているので、大勢の中では気づきにくい、こどもの変化や成長を感じることができます。保育士間はもちろん、他の職種の話やアドバイスもあり、こどもとどう関わっていけば良いか、相談する機会もあります。

経験のない人でも新人研修が手厚くされるので心配いりません。困ったときは周りの人が助けてくれ、また言いやすい環境でもあるので大丈夫です。保育士としてのやりがいはこどもの笑顔と成長が感じられるところです。

介助の仕方が分からない時はリハビリのスタッフが丁寧に教えてくれます。

ゆっくりゆったり一日を大切にこどもたちに向き合うことで、意思表示を受け止めて楽しい時間を過ごしています。

やりがいのある仕事です。

クラス担任や保育補助などの立場を超えて協力する仕事も多く、助けてもらったり手伝い合ったりします。些細な事も優しく教えてもらえます。経験豊富な先輩や専門職の話を聞いたり教えてもらったりできるので、自分のプラスになることがたくさんあります。

